



2020年10月15日

各位

会社名 株式会社ベイカレント・コンサルティング
代表者名 代表取締役社長 阿部 義之
(コード番号：6532、東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 中村 公亮
(TEL. 03-5501-0151)

業績予想、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想（期末）に関するお知らせ

当社は、2020年10月15日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月14日に公表いたしました2021年2月期の業績予想の修正、2020年8月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の実施及び期末の配当予想につきまして、下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年2月期 通期業績予想数値の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	EBITDA	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,000 ~38,000	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	41,000	11,000	10,950	7,250	11,400	474.70
増減額 (B-A)	6,000 ~3,000	—	—	—	—	
増減率 (%)	17.1 ~7.9	—	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2020年2月期)	32,978	8,038	7,976	5,912	8,335	389.09

(2) 業績予想の修正理由

業績予想については、新型コロナウイルス感染症による世界規模での拡大に伴う影響範囲が不明であったことに加え、当該感染症の影響が長期化するリスクを踏まえ、売上収益については、35,000～38,000百万円の範囲とし、売上収益以外については、合理的に予測可能となった時点で公表することにしておりました。

現時点において、新型コロナウイルス感染症による影響は、依然として不透明な状況となっておりますが、緊急事態宣言解除後、新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念される中、経済活動は徐々に再開しております。当社においては、感染拡大防止のための施策を行いながらも、営業活動やプロジェクトに関して概ね問題なく遂行し、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的なものとなっております。そうした状況から、最近の業績動向等と合理的に予測可能な情報を総合的に勘案し、あらためて業績予想を算定することにいたしました。

算定した結果、2021年2月期の業績予想については、当社の顧客企業におけるデジタル技術の活用（デジタルトランスフォーメーション）など、企業活動を様々な側面から支援するニーズがより一層増えることが期待され、これらの高付加価値案件数が増加し、収益性も向上することによって、売上収益、営業利益、税引前利益、当期利益については、前年実績を上回る見込みとなりました。

2. 剰余金の配当（中間配当）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年4月14日公表)	前期実績 (2020年2月期中間)
基準日	2020年8月31日	同左	2019年8月31日
1株当たり配当金	55円00銭	未定	30円00銭
配当金総額	843百万円	—	457百万円
効力発生日	2020年11月30日	—	2019年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益還元を経営の重要課題と認識し、IFRSベースの配当性向20%～30%、且つ日本基準における分配可能額の範囲を目途にして、通期業績、財務体質の強化、内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで、継続的に配当を実施することを基本方針としております。

2021年2月期の中間配当につきましては、合理的な業績予想を公表することが困難であることから未定としておりましたが、このたび算定した上記「1. 業績予想」を踏まえ、1株当たり配当金を55円00銭とすることにいたしました。

3. 配当予想（期末）

（1）配当予想（期末）の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想（2020年4月14日）	円 銭 未定	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	60.00	115.00
当期実績（2021年2月期）	55.00		
前期実績（2020年2月期）	30.00	60.00	90.00

（2）理由

2021年2月期の配当予想（期末）につきましては、上記「1. 業績予想」及び「2. 剰余金の配当（中間配当）」を勘案し、60円00銭とすることにいたしました。これにより、55円00銭の中間配当とあわせて1株当たり年間配当金は115円00銭となる予定であります。

（注）本資料に記載した業績予想の数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上